第十講　『白居易集』／『小雪日、香亭弟贈灰鼠裘』・『礼記』／「詩人」

一　次の詩を読んで、後の問に答えよ。――返り点と送り仮名を一部省略してある。――

海天［Ａ］ニ望メバ夕ベ茫茫タリ
山勢川形闊(ひろ)ク［Ｂ］長シ
灯火万家城ノ四畔
星河［Ｃ］道水ノ中央
①風ハ吹ク二古木ヲ一晴天ノ雨
月ハ照ラス二平沙ヲ一夏夜ノ［Ｄ］
②能就二江楼一銷レ暑否
比スレバ二君ガ茅舎ニ一校(はなは)ダ清涼

（『白居易集』による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔注〕海天――海の水平線のかなた。　茫茫――広々として果てしないさま。
四畔――四辺。　江楼――水辺のたかどの。
銷――消える、消す。　茅舎――茅葺きの家、粗末な家。

問一　空欄ＡからＤまでには次のア～ケのいずれかの文字が入る。適切なものを一つ選べ。

ア　星　イ　光　ウ　一　エ　霜　オ　両
カ　西　キ　花　ク　復　ケ　東

Ａ＝　　Ｂ＝　　Ｃ＝　　Ｄ＝

問二　傍線部①を現代語に訳せ。

問三　傍線部②をすべて平仮名の書き下し文に直せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　この詩の作者は「君」に何を勧めようとしているのか、本文に即して簡潔に説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　（A）は清朝の詩人、袁枚（えんばい）の「小雪日、香亭弟贈灰鼠裘（小雪の日、香亭弟灰鼠裘（くわいそきう）を贈る）」という詩である。（B）は『礼記』の文章である。よく読んで、後の問いに答えよ。（設問の都合で返り点、送り仮名を省いたところがある。）

（A）

①雪珠如豆打茅茨

阿弟貽裘趁此時

仙鼠蒙茸真可愛

②老身長短更相宜

著来小試妻孥看

③分得余温手足知

但願多情如晏相

一披便作卅年期

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（B）曾(そう)子(し)曰(いはく)、「晏(あん)子(しハ)可(キ)レ謂(いフ)レ知(ルト)レ礼(ヲ)也已(のみ)。恭敬之(レ)有(リト)焉。」有若曰(ハク)、「晏子(ハ)一狐裘三十年、遣車一乗、及(ビテ)レ墓(ニ)而反(かへル)。国君(ハ)七个(か)、遣車七乗。大夫(ハ)五个、遣車五乗、<u>晏子焉知礼</u>④。」曾子曰(ハク)、「国(ニ)無(ケレバ)レ道、君子(ハ)恥(ヅ)レ盈(みたスヲ)レ礼(ヲ)焉。国奢(おごレバ)、則(チ)示(スニ)レ之(ニ)以(テシ)レ倹(ヲ)、国倹(ナレバ)、則(チ)示(スニ)レ之(ニ)以(テスト)レ礼(ヲ)。」

〔注〕　小雪――二十四節気のひとつ。立冬後の十五日前後。　香亭――袁枚の弟、袁樹の号。　灰鼠――リスの一種。
裘――皮ごろも。　雪珠――あられ、みぞれ。　茅茨(ぼうし)――かやぶきの屋根。　阿弟――阿は親しみを表す接頭語。
仙鼠――ここは灰鼠に同じ。　蒙茸――毛がふさふさとしたさま。　著――着に同じ。　妻孥――妻や子ども。
晏相――晏嬰。春秋時代の斉の宰相。晏子と称される。　披――服をはおる。　卅――三十。　曾子・有若――孔子の弟子。
遣車――送葬の時に供物を載せる車。　个――個に同じ。供物を数える単位。

問一　傍線部①「雪珠如豆打茅茨」に訓点（送り仮名と返り点）を施せ。

雪　珠　如　豆　打　茅　茨

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部②「老身長短更相宜」を平易な日本語に訳せ。

問三　傍線部③「分得余温手足知」の解釈について、次のア〜オから最も適当なものを選べ。

ア　自分の手足のように大切な妻や子にも皮ごろもの温もりを分けてやり、その暖かさを伝えたい。
イ　分けてもらった皮ごろもで手を暖めることができれば、それ以上は求めない。
ウ　皮ごろもを見せてやるだけで妻や子の手足までもが暖かくなる様子が見て取れる。
エ　身に着けた皮ごろもの温もりが伝わって、手や足の先まで暖かくなるのが分かる。
オ　弟の心の温かさが皮ごろもに込められており、わたしの手や足を暖めてくれる。

問四　傍線部④「晏子焉知礼」を（１）すべて平仮名で書き下し文に改め（現代仮遣いでもよい）、（２）平易な日本語に訳せ。

（１）

（２）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　（B）の対話からうかがえる曾子と有若の「礼」に対する考え方について、次のア～オから最も適当なものを選べ。

ア　曾子が礼を行う際の心のあり方に注目するのに対して、有若は礼の形式に従うことをより重視している。
イ　曾子が身分にとらわれない形の礼を考えるのに対して、有若は身分に応じた形の礼を考えている。
ウ　曾子が心身を陶冶（とうや）するものとして礼を考えるのに対して、有若は礼と心とを分離して考えている。
エ　曾子が国の貧富によって礼は変化するものと考えるのに対して、有若は礼を不変的なものであると考えている。
オ　曾子が国の治乱を君主が礼を守るか否かによると考えるのに対して、有若は臣下の礼の遵守をより重視している。

問六　曾子が「一狐裘三十年」である晏子を「礼を知る」者と評するのはなぜか。その理由を説明せよ。

問七　袁枚は晏子が一着の狐裘を三十年も使い続けた理由をどのように考えているか。五十字以内で説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈講義動画中に使用します〉

「詩の形式」

●古体詩…唐以前の詩で、字数・句数は不定。

●近体詩…唐以降の規則に従って作られた詩。**絶句・律詩・排律。**

「　　の詩人」

【　　】

・字＝太白（たいはく）。

・「　　　」と称される。

・玄宗皇帝に仕えるが、後に追放される。

・自由奔放な作風。

・酒・自然・友人の歌が多い。

【　　】

・「　　　」と称される。

・玄宗皇帝に認められるものの、左遷され、その後は不遇。

・不遇な人生から、憤りや悲しい内容の詩が多い。

・政治・社会を描いたものも多い。

【その他】…**孟浩然（もうこうねん）・王維（おうい）**（←「詩仏（しぶつ）」と言われる）など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「中唐の詩人」

【　　　】

・字＝楽天。

・平安時代の日本に与えた影響大。『枕草子』や『源氏物語』にも引用される。

・平明な詩風（「元白体（げんぱくたい）」）。

・『　　　』（←玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋が題材）・『　　　』が代表作品。

【その他】…**韓愈（かんゆ）**・**柳宗元（りゅうそうげん）**など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講

①　空欄[X]に入れるのに最も適切な語はどれか。後の中から一つ選べ。

閨房ノ怨緒惣（すべテ）無シレ端
万事呑ミテレ心ニ不レ表サレ肝ヲ
胸火燃エ来リテ誰カ敢ヘテ滅センヤ
紅深キ袖ノ涙不レ応ニカラレ[X]

ア　却　　イ　流　　ウ　払　　エ　干　　オ　対

②　「国焉得無亡乎。」を書き下し文にせよ。ただしすべて平仮名で記すこと。現代仮名遣いでもよい。また、現代語訳せよ。

③　杜甫と同時代の詩人を、次の中から一人選べ。

ア　白居易　　イ　蘇軾　　ウ　韓愈　　エ　李白

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　杜甫は「詩聖」とよばれた。それに対して李白は何とよばれたか。漢字二字で答えよ。

⑤　次の文章の空欄にあてはまる語として最もふさわしいものを、後の中から選べ。

太宗の時代は、文学史では初唐とされ、（　Ａ　）の基礎が確立された。中唐の詩人としては平易な詩風が特色で、代表作の（　Ｂ　）で有名な白居易や、また、他には（　Ｃ　）がいる。

ア　古体詩　　イ　近体詩　　ウ　「月下独酌」　　エ　「長恨歌」

オ　王維　　カ　杜甫　　キ　韓愈

Ａ＝　　　Ｂ＝　　　Ｃ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十講】

〔模範解答〕

一

問一　A＝ケ　　B＝ク　　C＝ウ　　D＝エ

問二　風が枯れ木に吹きかかり（ザワザワ鳴る音が）、晴れているのに降っている雨の音のようである。

問三　よくこう〔かう〕ろうにつきてしょをけすやいなや

問四　作者は水辺の避暑地を訪れていて、広大な自然を眺め、夜の街の灯りや天の川、月明かりの美しい様子を伝えて、友人に暑苦しい部屋の中にいるよりも、涼みに来ることを誘っている。

二

問一　雪珠如（ク）レ豆（ノ）打（チ）二茅茨（ヲ）一

問二　年老いた自分の丈にちょうどぴったりである。

問三　エ

問四　（１）あんしいず〔づ〕くんぞれいをしらん（や）（と）。

（２）晏子がどうして礼を知っているといえようか、いや、いえない。

問五　ア

問六　国が贅沢になっている時は、倹約を示すことが礼であると考えるから。

問七　倹約だけでなく、狐裘を贈ってくれた人への感謝の気持ちを表すために、大切に使い続けたと考えている。（四十八字）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔現代語訳〕

一

海の水平線のかなたを東に見ると、薄暗い夜の景色が広々と果てしなく広がっている
山の姿も川の形も、広くかつ長くつながっている
灯が多くの家々に灯り、街の四辺にまでも広がり
天の川が一筋に、川の真ん中にかかっている
風は枯れ木に吹きかかり、晴れているのに降っている雨の音のようである
月は砂を照らし出し、夏の夜の霜のように白く光っている
水辺の高楼に来て、暑さを忘れてみないか
君の粗末な家に比べれば、とても涼しいよ

二

（A）あられが豆のようにかやぶきの屋根を打ちつけ、
我が弟が皮ごろもを贈ってくれたのは、この（ような小雪の）時であった。
リスの毛でできた皮ごろもは毛がふさふさとしていて、本当に珍重すべきで、
年老いた自分の丈にちょうどぴったりである。
ちょっと試着をしてみて妻子に見せてみたが、
身に着けた皮ごろもの温もりが伝わって、手や足の先まで温かくなるのが分かる。
ただ願うことは（弟の）たくさんの愛情がこめられているので、晏嬰〔＝晏子〕のように
一度（この）服をはおれば、そのまま三十年間使い続けることを。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（B）　曾子が言うには、「晏子は礼法を知っているということができるのである。慎みと敬いの心があるのだ」と。有若が言うには、「晏子は一枚の狐の毛でできた皮ごろもを三十年（も着続け）、送葬の時に供物を載せる車は一台で、墓に着いたら（客を送り出す前に）帰りました。君主は（葬儀では）供物を七個、送葬の時の車は七台。官吏は（葬儀では）供物を五個、送葬の時の車は五台（と決まっているのに）、晏子は（そうした決まりを守らず倹約したので）どうして礼を知っているといえようか、いや、いえない」と。曾子が言うには、「国に正しい道が行われていない時は、君子は礼法を充分に行うのを恥じるものである。国が贅沢になっていれば、人々に倹約を示し、国が倹約していれば、人々に礼法を示すものなのだ」と。

＊空欄補充

「**盛唐**の詩人」

【李白】

・字＝太白（たいはく）。

・「**詩仙**」と称される。

【杜甫】

・「**詩聖**」と称される。

・玄宗皇帝に認められるものの、左遷され、その後は不遇。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「中唐の詩人」

【白居易】

・字＝楽天。

・**『長恨歌』**（←玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋が題材）・**『白氏文集』**が代表作品。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説　第十講

〈解説〉

①　押韻の問題。七言詩なので、初句と二句目の句末「端（ｔａｎ）」と「肝（ｋａｎ）」から、「ａｎ」の音になるものを選ぶ。よって、エの「干（ｋａｎ）」が正解。

②　文中の「焉」は、「いづクニカ（どこ）」か「いづクンゾ（どうして）」と読み、疑問か反語。「国が亡びないことがある」というのは、まず常識的に考えられないことなので（世のものはすべて「無常」）、反語と判断する。「国は必ず亡びる」という結論なので、その国が「どこか」と場所を尋ねているのではないから「いづクンゾ」で読み、「どうして国が亡びないことがあろうか、いや、必ず亡びる」という訳になる。読みとしては「無」の直前は体言か連体形。反語であるから「乎」は「～（未然形＋ン）や」となり、「得」を未然形の「え」と読む。すべて繋げると、「くにいづくんぞほろぶる（こと）なきをえんや。」となる。

③　杜甫は盛唐の時代に活躍した詩人。李白、王維、孟浩然が同時代。白居易、韓愈は中唐。蘇軾は宋の時代の詩人である。

④　杜甫＝詩聖、李白＝詩仙、王維＝詩仏とよばれたことを押さえておくこと。特に、杜甫と李白。

⑤　古体詩は唐以前の詩。唐以降に作られたのは近体詩。よって、Ａはイが正解。白居易の代表作品は『長恨歌』と『白氏文集』。よって、Ｂはエが正解。王維と杜甫は盛唐に活躍した詩人。よって、Ｃはキが正解。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① エ

② くにいづ〔ず〕くんぞほろぶる（こと）なきをえんや。

〔現代語訳〕どうして国が亡びないことがあろうか、いや、亡びる。

③ エ　④ 詩仙　⑤ Ａ＝イ　Ｂ＝エ　Ｃ＝キ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。